

大学院の教育目的とポリシー

教育目的

■ 看護学研究科

看護学研究科にあつては、看護学に対する高度な学識と広い視野を保持し医療・保健現場に臨める卓越した能力を有し、国民の健康を支える高度専門職業人を育成する。（新潟青陵大学大学院学則第1条第3項）

■ 臨床心理学研究科臨床心理学専攻（修士課程）

臨床心理学研究科にあつては、臨床心理学とその関係分野において実践的な教育と研究を通じ、高度な専門知識を修得させるとともに、職業人として自律した心理臨床家を育成する。（新潟青陵大学大学院学則第1条第2項）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

■ 看護学研究科

1. 看護実践・教育・研究を通して、生涯学習できる高度な専門的能力を身につけている。
2. 専門分野における実践知を学問的に意味づける能力を身につけている。
3. エビデンスに基づいてケアの質向上をはかる能力を身につけている。
4. 文化の多様性を理解し、高い倫理観をもって総合的に調整する能力を身につけている。
5. 専門領域における課題に取り組み、学術的視点で研究活動ができる能力を身につけている。

■ 臨床心理学研究科臨床心理学専攻（修士課程）

1. 臨床心理学の専門家としての臨床実践力および倫理観を身に付けている。
2. 臨床実践に基づいた臨床心理学的知識と視点、心理学及び関連領域の高度専門的知識を身につけている。
3. 臨床心理学の発展に寄与する研究を実践し、その内容を適切に伝える力を身に付けている。
4. 臨床心理士及び関連領域の専門職と連携・協働し、地域の臨床心理学的問題の解決に寄与する力を身につけている。

大学院の教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

■ 看護学研究科

1. 共通科目は高度専門職業人の育成のために、幅広い学識の涵養と看護学の基礎的理論や研究方法について学ぶ科目を配置する。
2. 科学的根拠に裏づけられた論理的思考力を高めるための科目を配置する。
3. 母子看護学分野、ヒューマンケア看護学分野、看護管理学分野のそれぞれに、講義・演習・実習の科目を置き、実践能力を高める科目を配置する。
4. エビデンスに基づいた論理的思考力と課題解決に向けた実践力を高める科目を配置する。
5. 多様な異文化や価値観を理解し、看護実践のあらゆる場面において看護の理論と実践を結びつけて理解する能力、チームリーダーとして、連携・協働する能力を高める科目を配置する。
6. 専門分野の研究活動を通して知見を広げ、教員の指導のもとで論文を作成する看護学特別研究科目を配置する。

■ 臨床心理学研究科臨床心理学専攻（修士課程）

1. 臨床実践力及び倫理観を育てるために、実習科目を中心に、講義科目、演習科目を体系的に配置し、体験に基づいた実践的な学びを推進する。
2. 臨床心理の専門家としての高度専門的知識を身に付けさせるために、臨床心理学及び関連領域に関する専門的な講義・演習・実習科目を配置する。
3. 研究実践力を育てるために、研究法に関する科目を配置すると共に、臨床心理学に関する研究課題や問題意識を深めるための科目を配置し、修士論文の作成につなげていく。
4. 臨床心理士及び関連領域の専門職と連携して地域援助を行う力を育てるために、学校臨床や精神科医療等の関連する科目や、関連施設における実習を配置し、特に地域での学外実習における指導担当者及び他職種からの学びに力を入れる。

大学院の入学受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

■ 看護学研究科

1. 志望する専門分野に必要な基礎的知識と技術を修得している人。
2. 柔軟な発想と論理的な思考ができる人。
3. 倫理的な感受性をもって行動できる人。
4. 専門職業人として生涯にわたって研鑽し続ける意欲をもつ人。
5. 地域・国際社会に貢献する意志をもつ人。

■ 臨床心理学研究科臨床心理学専攻（修士課程）

1. 臨床実践力及び研究実践力を育むために必要な学力と知識を身に付けている人。
2. 人間を理解・援助するための広い視野と柔軟性、他者と協働するためのコミュニケーション力を有する人。
3. 人間に対する深い関心と教養を有し、他者を尊重する態度を持つ人。
4. 臨床心理学領域において、自発的に課題を見出し、それを深めることのできる人。
5. 臨床心理援助の実践と研究の発展に貢献したい人。